

吉川 毅一 議員



農村振興基本計画の作成にあたって

議員 農村振興基本計画の作成で、地域や町の課題をどうとらえるか。

住民アンケートを

町長 アンケート調査やインタビュー、住民懇談会などを実施して、計画課題をどうとらえたい。
計画に入りたい主要事業は健康福祉総合拠点施設、資源循環型農業の推進から生ごみ堆肥化施設、自然エネルギーの活用する小水力発電施設、中山間地域、担い手づくりを推進するため土地盤整備、雨水浸水対策、基幹排水路等の集落防災安全施設整備などである。



議員 事業実施スケジュールは、農林係長 平成17年度に農村振興総合整備事業の全体実施計画及び年度別計画を策定し、平成18年度から平成23年度までの6年間で事業実施したい。

生ごみの堆肥化は

議員 生ごみ堆肥化事業の進捗状況と今後の計画は、

自然発酵方式に変更したい

町長 これまでの試行事業で悪臭や夏場の腐敗を防ぐ課題が解消された。
機械による強制発酵から自然発酵に方式を変更し、複数の地区が同時に収集可能になるよう、一元的な作業や堆肥のストックができる施設を確保したい。

土肥 洋之 議員



合併に対する民意とは

議員 町長提案理由説明で、市町村合併については、町の将来に禍根を残すことのないよう民意を十分把握し、最終的な判断は12月議会で申し上げたい」と言明されたが、民意とはどの様に理解すればよいのか。

議会とも十分相談した上で

町長 14年の『町長と語る会』や15年の『合併の方向性についての説明会』などを通じて、町民の意見を聞いた。民意とは、町民の意思であると理解しているつもりである。最終判断において、町民を代表する議員の皆様とよく協議した上でと考えている。

広域消防は

議員 広域消防の必要性について、当局側から提案されないのはなぜか。

合併の枠組みが決まってから
町長 市町村合併の枠組みが決まってから検討すべきと考ええる。

立山観光の広域化は

議員 富山市及び県を含めた広域観光を目指す努力が必要ではないか。

既存の組織を通じて

町長 さらに、立山黒部薬師合同宣伝協議会などを組織して、観光パンフレットの発行などに取り組んでいる。これからも広域観光に努めたい。



観光パンフレット

特別委員会行政視察報告

議会運営委員会

韓国江北区友好親善

9月2日～4日

議会運営委員会一行9名が友好親善調査のため、9月2日～4日韓国ソウル特別市江北区に行ってきた。世界的な霊山である三角山の山並は立山連峰とよく似ており、江北区は快適で住みやすい地域である。
天恵の自然環境を基にソウル東北部の中心地域で人口36万人の都市、江北区は明るく豊かな福祉都市を目指して努力され、市内は活気にあふれていた。
生活面では文化環境を整え、地域間のバランスの取れた発展と地域経済の活性化を通して、誰もが住みたいと思える街、ゆとりのある心と文化が織りなす幸せな街を目指していることが印象深い。

参加者

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 村井隆夫 |
| 副委員長 | 米田俊信 |
| 委員 | 中川光久 |
| | 高嶋清光 |
| | 土肥洋之 |
| | 佐伯靖彦 |
| | 岡本宣宏 |
| 議長 | 藤井忠則 |

立山開発・自然保護特別委員会

乗鞍岳マイカー規制

7月27日～28日

岐阜県丹生村は、観光と農業を中心とした「豊かでやさしさのある村づくり」を進めている。

乗鞍スカイラインのマイカー利用規制の目的は、自然保護や環境確保のため自然公園本来のあり方が再認識されることにある。平成15年度から無料化されたことにより、これまで以上に自然環境に悪い影響が懸念されるため、無料化後はマイカー利用を規制することに決まった。

大気環境状況調査では、これまでと変わらないが、植物では西洋タンポポが増え苦慮している。

観光資源の保全と活用については、乗鞍岳環境ハトリール員を6人、また環境指導員も配置している。施策に要する費用に充てるため、「乗鞍環境保全税」を創設し、観光客1人につき100円徴収されている。さらに、駐車場の適正な管理運営を行う費用として駐車場料金を徴収している。

参加者

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 岡本行男 |
| 副委員長 | 澤崎正義 |
| 委員 | 藤井忠則 |
| | 中川光久 |
| | 福田吉彌 |
| | 岡本宣宏 |



下水道事業特別委員会

8月24日～25日

兵庫県山東町で、下水道事業の視察を行った。
山東町からは、議長、産業建設委員長、企業課長、課長補佐、そして議会事務局長の5名で、親切丁寧に対応してもらった。

研修事項の主な内容は、下水道事業の進捗状況について（答…100%完了）
建設工事費、負担金使用料について（答…負担金35万円～57万円まで、地区によって格差あり。使用料は、基本料金2、200円+人員割200円一人）
浄化センターの施設管理について（答…管理会社に全面的に委託）
とのことであった。

各委員からも活発に質問があり、中身の濃い研修になった。

参加者

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 桑原米蔵 |
| 副委員長 | 村井隆夫 |
| 委員 | 吉川毅一 |
| | 高嶋清光 |
| | 土肥洋之 |
| | 佐伯靖彦 |